

グリーンローンの概要

■資金調達概要

借入人	東北電力株式会社
貸付人	株式会社新生銀行
資金使途	玉川第二水力発電所の建設費用
プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 所在地：山形県西置賜郡小国町 ● 荒川水系玉川では古くから電源開発が行われ、上流には東北自然エネルギーが保有する長者原発電所（1938年運転開始）、玉川発電所（1984年運転開始）が設置されており、既設の玉川発電所からの放流水と、新設する取水口からの取水を合わせ、最大25.00m³/sを利用し、最大出力14,600kWの発電を行い、CO₂排出量低減に貢献する。 ● 使用する水量に応じて羽根の角度を変化させることにより、効率的な発電が可能な水車を採用している。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>玉川第二地点</p> <p>図1：発電所の立地</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>図2：発電所の全景 (2021年7月)</p>  </div> </div>
外部評価	<p>【評価および検証】</p> <p>DNVより、グリーンローンを含む、グリーンファイナンスによる資金調達計画について、下記基準への適合性について検証を受けております。グリーンローンに関しては、GLGLs、GLPへの適合性について検証を受けております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンボンドガイドライン2020年版（GBGLs 環境省）※1 ・グリーンローンガイドライン（GLGLs 環境省 2020）※1 ・グリーンボンド原則2021（GBP ICMA）※2 ・グリーンローン原則（GLP LMA、APLMA、L TSA 2021）※3 ・Climate Bond Standards (v. 3.0) 及び参照可能な技術基準

※1 グリーンボンド原則やグリーンローン原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的な対応を検討する際に参考とし得る、具体的な対応の例や日本の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドやグリーンローン等を国内でさらに普及させることを目的に、環境省が2017年3月に策定・公表し、2020年3月に改訂したガイドライン。

※2 国際資本市場協会（ICMA）が事務局機能を担う民間団体である「グリーンボンド原則執行委員会」により策定されているグリーンボンドの発行に係る原則。ICMAが2014年に策定・公表し、複数回の改訂を経て、2021年5月に最新版として改訂された。

※3 グリーンローン商品の開発と整合性向上の促進を視野に入れ、シンジケートローン市場で積極的に活動している大手金融機関の代表から成る経験豊富な作業部会によって策定された原則。LMA、APLMA、L TSAが2018年に策定・公表し、2021年2月に改訂された。